

予 算 要 求 資 料

令和 5 年度 3 月 補正 予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 【新】避難所生活環境確保対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111 (内2841)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,418 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	3,418	0	0	0	0	0	0	0	3,418
決定額	3,418	0	0	0	0	0	0	0	3,418

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 1月に発生した令和6年能登半島地震の被災地では、被災者の方が厳しい寒さの中での避難所生活を余儀なくされている。
- ・ さらに被災地では停電や断水が発生しており、ライフラインの途絶時の寒さ対策が課題となっている。
- ・ 厳寒・降雪地域を有する本県においても、避難者の健康被害の軽減に向け、避難所における停電時の寒さ対策を進める必要がある。

(2) 事業内容

- ・ 停電時にも使用可能な防寒資材として、石油ストーブ60台とブランケット100枚を整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県内の被災を想定した備えであり、県が負担することは妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	3,418	暖房機器の購入
合計	3,418	

決定額の考え方

--

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 大規模災害発生時に、対応が困難となった市町村や避難者の支援するため、緊急に必要な資機材の備蓄、調達を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

被災への備えを目的にしているため、目標設定に馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	令和6年能登半島地震における厳冬期の避難生活の実態を踏まえ、早急に対策を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 大規模災害の発生に備え、避難所の生活環境を確保を支援するための資機材を支援ニーズ等を把握しながら、平時より必要な資機材の確保に努めていく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 避難者支援を迅速に行うために必要な資機材整備を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	